



# せいひ会だより

2012年(平成24年)  
8月1日発行  
<第148号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



## 7月の行事

- 4日・18日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 7日 七夕(元亀・GH・寿限無)
- 7日 七夕そうめん流し(通所・丘の家・じゅげむ)
- 9日 陶芸教室(通所)
- 15日 収穫祭(GH)
- 16日 誕生会(元亀・通所)
- 28日 そうめん流し(風和)
- 28日 カフェ元亀の里(元亀)
- 28日 中山郷夏越し祭り

## 暑い夏が やってきました…

元亀の里の向かい側には森があります。  
その森の中にたたずむのは、『中山神社』。  
その境内が、「夏越し祭り」の舞台です。  
中山神社のこの祭りは、出店もあって毎年賑わいます。  
今年もまた熱い夏が…。  
せいひの夏がやってきました。  
仕事を終えてからの練習の成果を今ここに…。  
毎年、私たちの変えない演目、『同期の桜』。  
終戦から67年、当時を覚える年代の人達には、  
どのように映っているのでしょうか？  
夏もいよいよ本番です。

## 8月の行事予定

- 1日・15日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 4日 納涼祭(風和)
- 6日 陶芸教室(通所)
- 10日～20日 写真・作品展示会(風和)
- 20日 誕生会(元亀・通所)
- 25日 カフェ元亀の里(元亀)



☆7月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆

竹下 晶子様  
濱口 信夫様  
富崎 キク工様  
林田 ナツエ様  
前田 マスエ様  
坂口 喜美枝様  
河内 梅男様  
船石 ユク様  
金崎 アサ様  
山口 岩雄様

バースデインダーニュー

今回は通所介護・船石 ユク様にお話を伺いました。

大正12年、松島に生まれる。子供の頃から、体が弱かった母に代わって家の仕事を手伝っていたそうだ。「草切りや牛の世話等を雨が降ろうが雪が降ろうが一生懸命に働きよった」と當時を思い出させていた。大人になってからも、百姓や炭鉱の仕事を行い、「働けるしこ働いてきた」そうだ。とても大きな手をされており、「この手なら大丈夫、良う働く手ばしとる」と言われて嬉しかったとはにかまれていた。当時は素人演芸が流行ったようで、組内の10人位で演芸をして楽しかったと話される。今でも、昔の写真を見てはその頃を思い出されるとのこと。もちろん、今でも芸達者は健在！！行事やレクリエーション等も楽しめている。これからも、益々お元気でお過ごし下さい。

お誕生日おめでとうございます。

# Vitality Space

バイアリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバシリティの力があふれています。その活動を紹介するコーナーです。

雨上がり  
冷たいビール  
暑氣払い

松本テル子

紫陽花と  
ピンどこないけど  
私の中では  
田植え花

鳴田トエ

紅き糸  
コリオキ荒れて  
人の運命を

切れて空に舞い  
キバむく海に沈みゆく  
や知らざや

竹下晶子

うたの時間



通所・丘の家

## そうめん流し



せいひ会自慢のそうめん流し。そうめんは、およそ10mもの長さを流れてきます。一度に多くの方が、すぐうことのできるので、みんなわいわい楽しいですよ。「もっといっぱい流さんば、足りん！！」なんて言葉も聞こえてきました。



利用者の皆さんに協力いただき、竹の器を作りました。もちろん、この中には「そうめん」が入ります。氷も加わり涼しげな夏の一品ができあがりました。暑い夏はこれに限ります。



**七夕**

じゅげむ

風和
元亀

七夕の日に見上げる天の川、ここ数年、梅雨らしい厚い雲にさえぎられ見ることができませんでした。今年も無理かなあと思っていたら、天気に恵まれ、空のかなたに天の川を望むことができました。みんなの願いが届いたのかもしれませんね。利用者の皆さんも、それぞれの思いを短冊に託して、笹に結ばっていました。

**収穫祭**

GH

元亀の里の中庭で採れた野菜たち。
寿限無には「そば打ち名人」がいます。手打ちで難しいのが水加減ですがそこは名人、さすがの手つきで見事に打ちあげました。

そう夏野菜を収穫しての料理が始まりました。田舎料理は任せなさいと言わんばかりに包丁を使い、あっという間に煮ものが出来上りました。そして昼食の食卓へ。味は・・・もちろん、おふくろの味。おやつの時間には「野菜の蒸しパン」ができあがりました。
利用者の皆さんもがんばった甲斐があり、おいしくおそばをいただきました。

### ケアマネ敏美 の独り言

〈この世で一番苦手なもの〉

皆さん的一番苦手なものは何ですか？私は家にいるあの「大きなクモ」。想像するだけで「鳥肌」が立ちます。やんちゃしてた10代の頃、家の風呂に入って「フウ～」と湯船につかり天井を眺めたらそこに大きなクモが・・・。

「ギヤー！！」と声を上げ素っ裸で飛び出す始末。何事かと「てやんでい親父」と「しゃかりき母ちゃん」がリビングから出てきて、冷めた目で一言。「何しようとや？素っ裸で！！」と・・・。

（クモがいる～！！）とも言えず、突っ張って

戻ったことが数回ありました。実は昨日も浴室にてクモを発見。思わずドアを閉めてしまいました。「さてこれからどうするべきか」思案したが結局そのドアを開けることができず近くにある温泉に行ってしまいました。（大きな出費でした。トホホ）その後はもちろん大好きなビールを流し込み、眠りについてのですが。

・・・さて今日はそのドアを開けなければなりません。どうか、いませんように。（祈）

-4-